



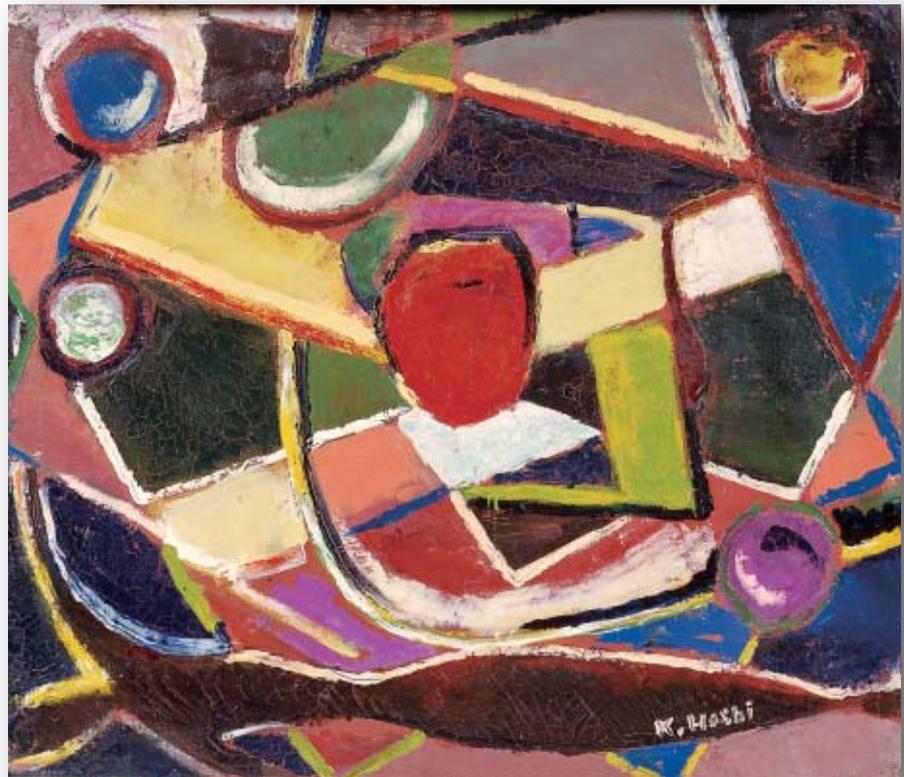
財団法人 星総合病院

懸虹

(題字は名誉理事長直筆)

特集

コンタクトレンズによる 角膜感染症



習作 (F10, 1949)
名誉理事長 星 一雄

- 新星総合病院工事情報
- 星訪問看護ステーション
開所
- 「精神看護専門看護師」・
「がん化学療法看護認定看
護師」が誕生
- 施設ニュース

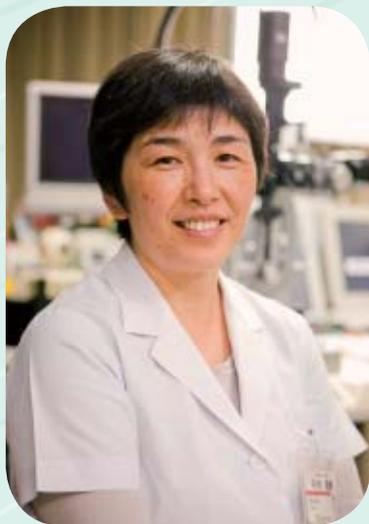
醫
靈

未曾有の大震災から9ヶ月。地震、津波、原発、放射能汚染。次から次へと福島県を襲う諸問題。国の施策が遅いなかで、粛々と対応されている。県知事はじめ関係各位の心労は計り知れないものがあると思われまます。この期間、星総合病院においても西棟改修、仮設診療所の開設等急ピッチでの復興への道のり。六百人を超える外来患者、満床に近い入院患者。今まで脈々と受け継がれてきた「おらが病院」スピリットが遺憾なく発揮され、着実に復興への兆しが見える中、向河原地区に建設中の新病院は、四階床のコンクリート打設工事が行われ、その地面にしっかりと張詰められた鉄筋、コンクリートの姿を見るにつけ星総合病院の着実な将来がくっきりと浮かび上がって来ます。一人ひとりが精密時計の一つ一つの歯車になり、着実な時を刻むように「新しい星総合病院」が「新しいおらが病院」になるよう、今、着実な一歩を歩いていきたいと思います。真実の復興に向けて。

管財部 鈴木 隆幸

コンタクトレンズによる

角膜感染症



日本眼科学会専門医
星総合病院

平井 香織先生

コンタクトレンズ（以下CL）が実用化されてから約60年が経ち、今では1,500万人以上が使用しています。最初に開発されたのはハードコンタクトレンズ（HCL）ですが、現在はソフトコンタクトレンズ（SCL）が7割を占め、中でも1日しか使わない、1週間あるいは2週間で交換する、1～6ヶ月で定期交換する、という捨てるタイプのSCLの使用が増加しています。短期間で捨てるのだから安全なように思われがちですが、実は近年CL関連角膜感染症は増加し、重症例が後を絶ちません。何故でしょうか？

日本眼科医会の各医療施設におけるアンケート調査では、CL装用者の7～10%に眼障害が発生しているとの結果が得られました。眼障害の内訳では、点状表層角膜症、角膜上皮びらん、角膜上皮剥離が多く見られます。これらの障害は角膜の最外層のみに起こる“キズ”で、自覚症状は強くても（充血、異物感、目の痛み）早期に適切な処置を行なえば事なきを得ることが出来ます。

しかしこのようなキズを足場に角膜に感染が起こると様相は一変します。さまざまな菌が感染原因となりますが、重症化した例では緑膿菌とアカントアメーバが発生数でも重症度でも群を抜いています。これらの原因菌は病巣はもちろん、CLケースからも検出されることを覚えておいて下さい。

〔図1〕は緑膿菌による角膜潰瘍です。本来透明である角膜が白く濁っています。緑膿菌は角膜上皮への接着力が強く、自身が蛋白分解酵素を持つため角膜組織が融解し、角膜潰瘍は重篤で進行は早く、角膜穿孔（角膜に穴が開いてしまう）の危険性があります。適切な抗生剤での治療が行なわれます。

アカントアメーバ角膜炎の初期は角膜上皮（角膜の最外層）の病気ですが、完成期にいたると角膜実質（角膜の中央の厚い層）に病気が移り、きわめて難治性になります。アメーバそのものに効果のある薬剤はなく、抗真菌（カビ）薬、消毒薬、アメーバの栄養となる細菌に対する抗生剤の投与に加え、病巣自体を擦過してアメーバを物理的に除去することも行われます。

〔図2〕はアカントアメーバの症例ですが、すでに完成期まで進行しており、視力は指数弁（目の前に出した指の数が見える）。

視力表の輪の空いているところは見えない) でした。目の痛みと充血が非常に強くきわめて難治性でしたが、半年後には視力は (0.8) まで回復しました [図3]。

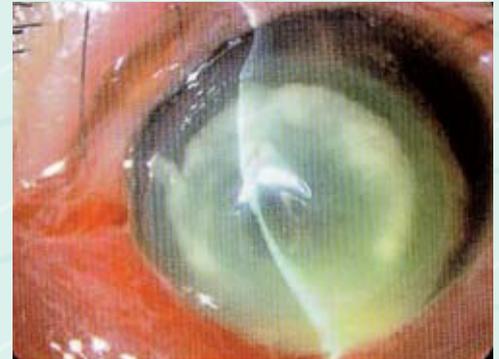
緑膿菌もアカントアメーバも土壌、淡水に広く分布していて我々の周りに普遍的に存在しています。アカントアメーバは水道水にも含まれています。緑膿菌も湿潤な環境を好みます。CLケアを行なう洗面所がこれらの菌に汚染され、手指を介してCL、CLケースに付着し、角膜のキズから感染が成立すると考えられます。

感染症増加の一因として、ずさんあるいは不適切なCLケアが挙げられます。

CLに触れる前の石鹸での手洗い、手指の乾燥、CLのこすり洗い (30回以上が有効)、レンズケースの洗浄・自然乾燥・定期交換 (少なくとも3ヶ月に1回) が必要であることを知らずにCLを使っている方が非常に多いのが現状です。CL使用者のアンケートでは、約3割が毎日は洗浄しておらず、毎日消毒しているのが約3割、装用方法 (日数、時間) をほぼ守っていたのが約4割でした。1日使い捨てを何日も使っている人達が多くいるのです。これは眼科医の指導不足もあるでしょうが、CL量販店やインターネットで購入し、眼科を全く受診せず、従ってCLの恐ろしさを教わる機会がないという使用者の行動にも問題があります。

また消毒剤は洗浄・消毒・すすぎを一つの液で出来るMPS (多目的用剤) が多くの例で使われていますが、過酸化水素製剤やヨード製剤と比べると消毒効果は弱く、特にアカントアメーバには無力です。液に浸して消毒をしたつもりでも、そのケースの中で菌が増殖しているのです。これがレンズケースの洗浄・自然乾燥・定期交換が必要な理由です。

CLは直接目に付ける異物です。目に害のないCLは存在しません。CLで視力を失うことのないよう、謙虚な気持ちで使用してほしいと切に願います。



【図1】



【図2】



【図3】

新星総合病院 工事情報



平成23年3月の東日本大震災による建物損壊後、6月に規模を縮小して通常診療を再開してから約7ヶ月が経過しました。病床数は震災前と比べ半分以下になりましたが、外来患者様はほぼ震災前と変わらない来院数となるなど復興に向けて着実に前進しております。これもひとえに地域の皆様のご支援ご協力のお陰と深く感謝申し上げます。
平成25年春開院を目指し平成23年3月に着工した新星総合病院ですが、順調に工事が進んでおります。新病院移転新築工事についてご案内致します。

新病院完成予想イメージ



病棟外観



外来待合



エントランス



1床室



2床室



スタッフステーション



検査待合

《工事現場全景》

工事のようす (平成23年7月～12月)



7/15



8/10



9/10



9/28



11/14



11/30

《病棟工事の経過》



7/23 基礎鉄筋・型枠工事



8/12 基礎コンクリート打設



9/10 1F柱・壁配筋工事



10/6 2F梁床配筋・床型枠工事



11/4 2F床配筋・コンクリート工事



12/7 3F梁・床配筋工事

《中央診療棟工事の経過》



7/23 基礎鉄筋・型枠工事



8/12 基礎・1F床
コンクリート打設



9/10 1F柱配筋・梁型枠工事



10/7 2F梁床配筋・
床型枠工事



11/4 2F柱・3F梁型枠工事



12/7 3F躯体コンクリート
打設



12/7 3F柱配筋・型枠工事

現場ウェブカメラ公開中

新病院建設現場の様子をリアルタイムでご覧いただけるようライブカメラを設置しています。

＜動画の見方＞

- ① 当法人ホームページ (<http://www.hoshospital.or.jp>) にアクセス
- ② 「新・星総合病院 建設現場ライブカメラ」のリンクをクリック

トピックス

○「新・星総合病院 工事だより」を発行

建築会社である鹿島建設株式会社が発行する「新・星総合病院 工事だより」を、当法人ホームページ上に掲載しています（隔月発行）。工事進捗状況、各種トピックス等をお伝えしています。ぜひご覧ください。



○モデルルームを設置

患者さんが使うことを想定して、設備の配置などを確認するためにモデルルームを設置し、検討を行いました。照明の明るさや位置、ドアの重さ、トイレの便座やフラッシュバルブの位置など、細かく検討しました。

（※モデルルームの一般公開の予定はございません）



1床室



2床室



ナースステーション



外来受付

星訪問看護ステーション開所

平成23年8月、当法人に2つ目の訪問看護ステーションが開所しました。

「星訪問看護ステーション」について

介護保険・医療保険の双方に対応しています。

ご本人・ご家族様のご希望を確認しながら、必要な看護を計画します。専門的な知識のもと、病状の確認・療養上のお世話・医療処置・療養相談・介護相談などを行い、その人らしく安心して過ごせるよう看護を提供します。24時間対応体制で実施しております。

サービス内容の例

- ・健康状態の観察
- ・認知症の看護
- ・日常生活の看護（清潔・排泄のケアなど）
- ・精神・心理的な看護
- ・医療処置（カテーテル管理や褥瘡の処置など）
- ・介護者への助言、健康相談
- ・在宅リハビリ、療養環境の整備、福祉用具の相談
- ・在宅ホスピス

スタッフの紹介

所長 戸崎亜紀子 〈訪問看護認定看護師（日本看護協会認定）〉
看護師 大和田睦美 〈認知症ケア専門士（日本認知症ケア学会認定）〉
保健師 木村江美子



訪問看護を希望される場合

下記までご連絡いただくか、担当のケアマネージャーまたは主治医にご相談ください。

連絡先 〒963-8813 郡山市芳賀1丁目16-1
TEL. 024-956-2322 FAX. 024-941-1120

公益社団法人日本看護協会認定 「精神看護専門看護師」「がん化学療法看護認定看護師」が誕生

看護の専門性を高め、特定の看護分野において熟練した看護技術・知識を用いて水準の高い看護ケアを提供できるよう、当法人では専門看護師および認定看護師の育成に積極的に取り組んでおります。

この度、精神看護専門看護師（福島県内で2人目の認定）、およびがん化学療法看護認定看護師が誕生しましたのでご紹介します。



精神看護専門看護師
星ヶ丘病院 CNS 看護師
遠藤 太

「精神看護専門看護師」が担う役割とは？

精神看護専門看護師（CNS）は、複雑で困難な問題をもつ患者さんや家族に対して、水準の高い看護ケアを効率よく提供するための専門職です。

専門看護師は、特定の専門看護分野において、「直接ケア」、「相談（コンサルテーション）」、「教育」、「調整」、「研究」の5つの役割を担います。

今後の抱負をひとこと

現在は、新人の教育活動や院内の教育に力点を置いています。今後は、実践の活動やコンサルテーション活動をすすめて、現場のお役に立てればと思っています。まだまだ力不足で、皆さんのお力をお借りする事が多いとは思いますが、患者さん、ご家族の皆さんのためにCNS活動を続けていきたいと思っています。



がん化学療法看護認定看護師
星総合病院 外科外来 看護師
郡司 かおり

「がん化学療法看護認定看護師」が担う役割とは？

近年、がん化学療法は新薬の開発や治療適応の拡大が進んでおり、治療患者の増加と治療の複雑化により安全投与対策が大きく叫ばれています。そのような現状において、安全で効果的な化学療法が行えるよう医療体制の整備やスタッフ教育、多職種との連携などを推進し、専門性の高い看護の実践をしていく役割があると考えています。

今後の抱負をひとこと

現在、外来でも病棟でも業務の煩雑化が起きており、安全性の確保に向けた体制づくりとスタッフ教育に、まずは早急に取り組んでいこうと考えています。まだまだ、認定看護師としてのスキルが足りない自分ではありますが、患者さんのニーズおよび看護実践の現場ニーズに迅速に対応できる認定看護師を目指して頑張っていこうと思っています。

施設ニュース

パート①

星総合病院

高校生職場体験

8月12日

高校生が医療系の進路や将来の職業選択に必要な情報を実際に体験したり聞いたりすることで、明確な意思を持って進路を判断する一助になるようにと、高校生職場体験を実施しました。郡山市及び三春町の高校生43名が参加しました。

体験職種

星総合病院：薬剤師、看護職、診療放射線技師、臨床工学技士、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、歯科技工士、管理栄養士、臨床心理士、社会福祉士、事務職

三春病院：看護職



グラム染色標本を顕微鏡で観察



カテーテル操作と血管観察



超音波で甲状腺を観察



足浴体験のようす

星ヶ丘病院

星ヶ丘フェスタ

10月22日

～フェスタだよ!! 全員集合☆～

病院各部署による出店、カラオケ・合唱・踊り等の大芸能大会、大抽選会のほか、地元団体によるよさこい踊り、三春町敬老園入園者や星ヶ丘保育園児による踊りなどが行われました。患者さんやご家族など約600名の方々に参加いただきました。



元気いっぱいのよさこい踊り

三春町立三春病院

みはるフェスタ

10月15日

～和と輪でつながろう みはる～

健康チェックやバザー、各種模擬店、郡山消防署三春分署員の皆さんによる心肺蘇生法体験コーナーのほか、三春病院白岩理医師による「和と輪でつながる心肺蘇生」をテーマとした生活習慣病についての講演会、田村高校合唱部によるコンサートなどが行われました。患者さんやご家族など約200名を超える方々にお越しいただきました。



田村高校合唱部による美しいハーモニー

介護老人保健施設オリオン

秋祭り

10月1日

利用者さんが作った御神輿の入場で祭りがスタートし、「うつくしま連」の皆様による阿波踊り、利用者全員参加してのよさこい踊りなどが行われました。利用者は家族やボランティアと一緒に、施設内に設けられた屋台やゲームコーナーをめぐり、祭りの雰囲気を楽しみました。



養護老人ホーム三春町敬老園

敬老会

9月7日

平成23年度に75歳以上となる入園者63名が招待され、敬老会が行われました。職員が招待者一人ひとりの名前を紹介した後、三春町の鈴木義孝町長より敬老祝い品・祝い金が贈呈されました。いつまでもお元気で。



鈴木義孝三春町長よりお祝いを受け取る入園者

地域行事

安積國造神社秋季例大祭神輿還御に参加

9月29日

郡山市の秋祭り「安積國造神社秋季例大祭神輿還御」に、当法人職員及びポラリス保健看護学院学生の男女計24名が神輿担ぎ手として参加しました。

本みこしを担ぐ宮本町会の神輿3社及び女神輿1社を担当し、「ワッショイ、ワッショイ」の大きな掛け声とともに市内を練り歩きました。

地域の伝統行事に触れ、また地域の皆さんと交流を深める貴重な体験となりました。



安積國造神社の石段を威勢よく駆け上がる神輿

施設ニュース

パート②

星総合病院 車椅子を3台寄贈いただきました (9月14日)

郡山市の大学生 齋藤弘枝さんより、車椅子3台をいただきました。

齋藤さんは東日本大震災の被災者のために何かしたいと、アルバイトでためたお金で車椅子を購入。被災後6月より通常診療を再開した星総合病院に寄付してくださいました。どうもありがとうございました。



写真左から
木島病院長、小瀧事務長、
佐藤総看護師長、齋藤様

星総合病院 病院ボランティア募集

院内でボランティア活動をしてくださる方を募集しております。

活動内容 来院者のご案内、受診申し込み、車椅子の方へのお手伝い

募集期間 随時募集しております。

お申込み・お問い合わせ

星総合病院 ボランティア委員会
(担当：会計 橋本)

TEL. 024-923-3711

年齢・性別不問です。
お気軽にお問い合わせ
ください。



参加無料

第11回 心うつくしまふくしまフォーラム IN 県中 災害における心のケアについて～大規模災害から復興に向けて～

ぜひご参加
ください

と き：平成24年1月21日(土) 13:00～16:00

ところ：ホテルハマツ (郡山市虎丸町3番18号)

◎基調講演 13:15～14:30

- 演題 『災害後に見られる心の不調とそのケア』
- 講師 飛鳥井 望 氏
(財団法人東京都医学総合研究所 副所長)
- 座長 丹羽 真一 氏
(福島県立医科大学神経精神医学講座 教授)

◎シンポジウム 14:40～16:00

- テーマ『被災者の元気と支援者の笑顔が大きくなるために』
- コーディネーター
熊倉 徹雄 氏 (財団法人金森和心会 針生ヶ丘病院 院長)
- シンポジスト
渡辺 しめ子 氏 (田村市役所 保健課 専門保健技師)
神山 寛之 氏 (南アサカサービスセンター あさかストレスケアセンター長)
橋本 由利子 氏 (NPO法人コーヒータイム施設長)
- スーパーバイザー
飛鳥井 望 氏

参加ご希望の方は、当法人ホームページ (<http://www.hoshipita.or.jp/>) より申込書をダウンロードしFAXにてお申込みいただくか、事務局(星ヶ丘病院)までご連絡ください。

お問い合わせ先：福島県精神保健福祉協会県中支部事務局(星ヶ丘病院)
TEL：024-952-2150(直通) FAX：024-952-7999

平成23年度歳末たすけあい募金 感謝状をいただきました

「歳末たすけあい募金」の共同募金に当法人全体で100,000円の募金が集まり、社会福祉法人福島県共同募金会より感謝状をいただきました。



Facebook始めました

当法人では、「Facebook」をスタートしました。Facebookは、SNS(ソーシャルネットワークサービス)の一種で、インターネット上で社会的なつながりを作っていくサービスです。今後、当法人の様々な情報をお届けしていく予定です。ぜひチェックしてください。

「星総合病院」で
検索!

ご意見をお聞かせ下さい。

ホームページアドレス
<http://www.hoshipita.or.jp>
発行／財団法人星総合病院
編集／「懸虹」編集委員会
発行日／平成23年12月30日
住所／〒963-8501
郡山市大町2丁目1-16

今年3月の東日本大震災として原発事故後、職員一丸となって復興へ向けて歩んでいる最中、念願だった新星総合病院が着工し、完成が待たれる中での突然の訃報の知らせとなりました。お二人の優しくおらかなお人柄、医療に真摯に向き合う姿勢は、私たち医療人の手本となるべき素晴らしいものでした。多くの人に惜しまれつつもその生涯を終えられたお二人。その意志、医療に対する志を受けつぎ、今後につなげていかなければなりません。星二郎副理事長、伊藤倉雄名誉病院長の御冥福をお祈り申し上げると共に、謹んで哀悼の意を表します。

編集後記